

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 学校法人 川崎学園		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 701-0192 岡山県倉敷市松島 5 7 7	
本票作成	部署名：学校法人 川崎学園 大学事務局 施設部				
主たる業種	分類コード	8 1	業種名：学校教育		
事業の概要	川崎医科大学、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学附属川崎病院、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学、川崎医科大学附属高等学校を有する学校法人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	川崎学園(附属川崎病院、附属高校を除く)		岡山県倉敷市松島 5 7 7	
	②	川崎医科大学附属川崎病院		岡山県岡山市北区中山下 2 - 1 - 8 0	
	③	川崎医科大学附属高等学校		岡山県倉敷市生坂 1 6 6 1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 2 3 年度		～	平成 2 5 年度 ( 3 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 2 2 年度)			目標年度 (平成 2 5 年度)					
	38,535 t CO <sub>2</sub>			37,379 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 2 2 年度) の排出量					
	①	川崎学園(附属川崎病院、附属高校を除く)		33,886 t CO <sub>2</sub>					
	②	川崎医科大学附属川崎病院		3,713 t CO <sub>2</sub>					
	③	川崎医科大学附属高等学校		936 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
			t CO <sub>2</sub>						
			t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積 (平成 2 2 年度) 335,347 m <sup>2</sup>	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		114.9 t CO <sub>2</sub> / ( 千 m <sup>2</sup> )	111.5 t CO <sub>2</sub> / ( 千 m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 ( 年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

本学園では、温室効果ガス排出の元となるエネルギー使用量の削減目標を年1%としており、これを達成することにより温室効果ガス排出量を削減する。原単位基準を採用した理由は、病院等は状況により稼働する病床面積が変動するので、これを補正するためである。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

学園内に「地球温暖化対策推進委員会」を設置している。大学事務局を委員会事務局とし、各施設の代表者を委員として選任したものである。委員会は年2回開催され、年度活動計画及び実施結果を報告している。また、学園の施設・設備の維持管理を担当している施設課においては、各施設の担当者による定例会を毎月開催して、省エネ活動等の情報交換・意識統一を図っている。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
川崎学園	1. 照明器具：器具更新、高効率管・球の採用 2. 空調設備機器：Vベルトの省エネベルトへの変更及びテンション調整 3. 給湯設備：ヒートポンプ給湯器導入 4. エスカレータ：インバータ化による電力節減 5. 設備機器：高効率機器の導入 6. 冷暖方式：空調機から外調機＋FCU方式に変更 7. 蒸気配管放熱ロス対策の実施

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
川崎学園全体	1. 省エネルギー活動の継続 (1) アクションプランの実施継続：適切な照明・空調の実施 (2) 冷房ロス・暖房ロスの低減化推進 2. 発電機、冷凍機、ボイラー等運転の効率化 (1) 複数台設置している設備の運転方法を工夫し、総合的な効率化、省エネルギー化を図る (2) 設備機器の制御方法を見直す（省エネルギー制御）
川崎学園	1. ターボ冷凍機の更新 2. 蒸気配管放熱ロス対策の実施 3. 照明器具の高効率管・球の導入 4. 誘導灯を高効率ランプ機器に更新
川崎医科大学附属高等学校	1. 女子寮エアコン更新

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

川崎医科大学附属川崎病院の追加により、基準年度・目標年度及び基準年度・目標年度の温室効果ガス排出量・原単位当たり排出量の見直しを行ったもの。